

施設名称：大阪府立近つ飛鳥博物館等		指定管理者： AKN共同事業体		指定期間：令和5年4月1日～令和8年3月31日		所管課：大阪府教育庁 文化財保護課		
評価項目	評価の基準（内容）	指定管理者の自己評価 (12月記入)	評価	施設所管課の評価 (1月記入)	R5	R6	R7	評価委員会の指摘・提言
			S～C		評価	評価	評価	
I 提案の履行状況に関する項目	(1)施設の設置目的および管理運営方針	<p>◇館の設置目的及び提案内容に沿った管理運営がなされているか</p> <p>○資料の収集・保管・展示</p> <p>○調査研究による最新の成果の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館報の刊行 1回 ・図録の刊行 3回 <p>○一須賀古墳群との一体的な活用</p>	<p>A</p>	<p>○資料の収集・保管・展示</p> <p>実物資料の適切な管理・活用等が行われているほか、関係機関等からの多数の寄贈図書についても適切に管理されている。</p> <p>○調査研究による最新の成果の発信</p> <p>夏季企画展では対象年齢層を低年齢に設定し、秋季企画展では南河内地方という地域性を強調したテーマなど、様々な試みがみられる。研究報告も博物館の調査研究発信の取組みとして適切に刊行した。</p> <p>○一須賀古墳群との一体的な活用</p> <p>校外学習等や展示解説等を通して一須賀古墳群との一体的な活用を図っている。そのほか、他館との連携や考古学とは別分野のイベントを実施するなど、対外的な活用の姿勢がみられる。</p>	A			
		<p>○資料の収集、保管、展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展示室・特別展示室は、目視点検により展示品を管理。 ・展示室・収蔵庫（特別・一般）において温湿度データ収集。 ・特別収蔵庫温湿度のモニター監視。 ・重要文化財「修羅」の点検を2月に実施予定。また、紫金山古墳・南塚古墳出土品の保存状況点検を予定している。 ・写真画像等の管理・保管については、写真室で温度管理の下で保管し、画像の貸出等に対応している。 ・新規寄贈図書をデータベースに入力 1,165冊。 <p>○調査研究による最新の成果の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館報を3月に刊行予定。 ・夏季企画展図録・秋季企画展において図録を刊行した。また、冬季特別展で図録を刊行予定。 <p>○一須賀古墳群との一体的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外学習等に対しては、風土記の丘のウォークラリー等を積極的に紹介。古墳探検ツアー等を実施。 (校外学習におけるウォークラリー・古墳探検ツアー件数 4月～11月 20校 3月に1校予定) ・滋賀県立安土城考古博物館との連携企画では、一須賀古墳群から出土した馬具を展示し、紹介に努めた。 ・自然観察会等の実施の補助などを通して、多角的な利用に便宜を図り、古墳や古墳時代に興味・関心を醸成していただく取り組みを行っている。 ・さくらまつりの開催 3月24日(土)・25日(日) 予定 						

		◎自己評価 館の設置目的及び提案内容に沿った管理運営を実施した		◎施設の設置目的および管理運営方針にかかる評価 すべての評価基準を満たしている。また、研究の成果の発信及び一須賀古墳群との一体的な活用において、多角的な試みが図られていると評価できる。			
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	◇公平なサービスの提供と対応、障がい者・高齢者等への配慮がなされているか ○高齢者、障がい者等への利用援助 ○子どもにもわかりやすい解説の充実 ・子ども向け解説・リーフレットの提供等 9 回	○高齢者、障がい者等への利用援助 ・敬老の日 65 歳以上入館料無料として利用促進を図った（総入館者数 312 名）。 ・受付に老眼鏡を配備し、希望者に貸し出している。 ・障がい者支援施設のご要望に柔軟に対応した。また、支援学校等の校外学習にも適切に対応した。※10月25日（水）11月1日（水）に大阪府立八尾支援学校の校外学習に対応。体験メニュー等、学校と協力相談しながら実施した。 ○子どもにもわかりやすい解説の充実 各展示会で子ども向け解説パネルを作成。リーフレット、ワークシートの提供（「知れたイヌ解説パネル」等 13 回）を行っている。パネル解説や音声ガイド等については、小学生の理解を考えて図を用いてわかりやすい丁寧な解説を心がけている。このほか、校外学習等では、ワークシートの利用を推奨するとともに、展示室での見学にはスタッフ等がサポートし、質問への対応や簡単な解説など丁寧な対応に努めている。 ◎自己評価 校外学習の受け入れは事前に周到な準備を行い、利用者とコミュニケーションをとりご要望に添えるよう、適切な対応に努めた。	A	○高齢者、障がい者等への利用援助 高齢者や障がい者への援助や、利用促進を図る事業が実施されている。 ○子どもにもわかりやすい解説の充実 子ども向けの解説パネルやリーフレットの提供を行い、子どもにもわかりやすい解説の充実が図られている。 ◎平等な利用を図るための具体的手法・効果にかかる評価 すべての評価基準を満たしている。	A		
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	◇利用者増加のための工夫がなされているか ○展覧会・スポット展示等の実施 ・開催回数 4 回	○展覧会・スポット展示等の実施 ・夏季企画展「蔵出し！大阪府所蔵品 ええもん並べまし展」（開催日数 56 日、展示室入場者 4,049 人） ・秋季企画展「知られざる南河内一地域に眠る遺跡たち」（開催日数 56 日、展示室入場者 3,941 人） ・冬季特別展「まくら一古墳時代の石枕と葬送儀礼」	A	○展覧会・スポット展示などの実施 評価基準を上回る実績である。	A		

		<p>○講演会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展・企画展等関連講演会、入門講座等の実施 12回 <p>○学校教育との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校等の受入 ・学校教育の発表の場の提供 4回 <p>・出前授業の実施</p> <p>・博学連携事業の推進</p> <p>○「でかける博物館」事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張展示 2回 	<p>(開催日数 50日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポット展示「近江の製鉄遺跡―史跡瀬田丘陵生産遺跡群 源内峠遺跡―」(滋賀県立安土城考古博物館との相互展示) (開催日数 32日、展示室入場者 2,338名) ・スポット展「ちょっとハロウィンな!? 週替わり館所蔵品展」(開催日数 30日、期間内総入館者 6,584名) <p>○講演会等の実施</p> <p>講演会：夏季企画展関連1回、秋季企画展関連1回、冬季特別展関連3回実施。また、新旧学芸員座談会を11月5日(日)に実施した。</p> <p>土曜講座：4回実施(計6回実施予定)</p> <p>入門講座：4回実施(計5回実施予定)</p> <p>○学校教育との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校等の受入 22回(11月現在)。 12月に1回・3月に1回受入を予定。 ・学校教育の発表の場の提供 4回。 南河内東部小学校「児童はにわ展(出前授業作品展)」(開催日数 15日間、入館者数 3,009名) 古墳の森コンサート(南河内地区高校軽音楽部) 春4月29日(土)、秋11月3日(祝・金)の2回開催 太子中学校社会科学部発行の「太子チャンネル」の設置 <p>・出前授業の実施 44校</p> <p>・博学連携事業の推進。</p> <p>大学からの要望により博物館実習を実施(8月2日~8月7日)。また、四天王寺大学の博物館実習(10月28日)を実施。奈良大学12月17日に博物館実習を実施予定。</p> <p>遠方他府県の高等学校・中学校の研究旅行受入れ(10月19日和光高校、11月18日田園調布学園中学校)。</p> <p>大阪芸術大学と連携協定を結び、芸術計画学科と共催で、考古資料と芸術のコラボレーションによる展示を1月27日~2月4日まで実施予定。</p> <p>○「でかける博物館」事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県立安土城考古博物館での出張展示「一須賀古墳群の馬具」(開催日数 32日間、会期中入館者 3,492名)。 ・大阪府立狭山池博物館との連携展 「うつす、まねる― 		<p>○講演会等の実施</p> <p>評価基準を上回っており、今後の事業実施により更に増加する見込みである。</p> <p>○学校教育との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校等の受入 実施されており評価基準を満たす。 ・学校教育の発表の場の提供 実施されており評価基準を満たす。 <p>・出前授業の実施</p> <p>実施されており評価基準を満たす。</p> <p>・博学連携事業の推進</p> <p>実施されており評価基準を満たす。</p> <p>○「でかける博物館」事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張展示 実施されており評価基準を満たす。 			
--	--	--	---	--	---	--	--	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・出張講座・ワークショップ 5 回 ・れきしウォーク 1 回 ○「府民が参加する博物館」事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・近つ飛鳥ギャラリーの実施 5 回 ・バックヤード探検ツアー 5 回 ○「風土記の丘」の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・風土記の丘古墳探検ツアー 2 回 ○広報の積極的な展開 	<p>模倣と複製の考古学―(2月21日～3月17日予定) 大阪府教育委員会、公益財団法人大阪府文化財センター、大阪府立弥生文化博物館、茨木市教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張講座 2 回 近鉄文化サロン阿倍野 摂河泉考古学談義 2023 ・出張ワークショップ 5 回 道明寺天満宮 (ハニワづくり) 守口市役所 (勾玉づくり) MC みはら (スリーステップで古墳を学ぼう) 島本町立人権文化センター (勾玉づくり) 旧河澄家住宅 (ハニワづくり) ・大阪および近隣の古墳や史跡を当館学芸員が案内する「れきしウォーク」を1回実施。 ○「府民が参加する博物館」事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・近つ飛鳥ギャラリーの実施 3 回 (今年度5回予定) ・博物館バックヤード探検ツアー 2 回 (今年度残り3回予定 2/11(日)・2/25(日)・3/24(日)) ・古墳の森コンサートの実施2回(府内高校軽音楽部の発表の場として、4月29日(土)150人・11月3日(祝金)150人) ○「風土記の丘」の活用 <ul style="list-style-type: none"> 古墳探検ツアーのほか、自然観察等の利用に対する協力や便宜を図っている。 ・風土記の丘古墳探検ツアー 2 回実施 ・南河内自然と子どもネットワーク「自然観察会」2回(今年度計4回予定) ○広報の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展及び特別陳列のポスターとチラシ、ミニギャラリー等催しのチラシを作成し、学校、公民館をはじめ各関係機関に配布。 ・各種イベントごとに大阪府政記者会、大阪教育記者会、河南町記者クラブ等に情報を提供。 『博物館だより』発行1回(今年度2回予定)。 ・ホームページを刷新した。Facebook、Instagram による迅速な情報提供。YouTube で博物館や展示・イベントの 		<ul style="list-style-type: none"> ・出張講座・ワークショップ 実施されており評価基準を上回っている。 ・れきしウォーク 進捗状況は100%であり、基準を満たす。 ○「府民が参加する博物館」事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・近つ飛鳥ギャラリーの実施 今後の事業実施により評価基準を満たす見込みである。 ・博物館バックヤード探検ツアー 実施されており評価基準を満たす。 ・評価項目で設定していなかった古墳の森コンサートの実施により「府民が参加する博物館」事業の実施は基準を上回る見込み。 ○「風土記の丘」の活用 <ul style="list-style-type: none"> 風土記の丘古墳探検ツアーの進捗率は100%である。自然観察等の取組協力もなされており、評価基準を満たす。また、自然観察会の開催により基準を上回る予定。 ○広報の実施 <ul style="list-style-type: none"> 実施されており評価基準を満たす。 各関係機関に配布するだけでなく、ホームページや SNS を使用した迅速な広報を行っている。 			
--	--	--	---	--	--	--	--	--

		<p>◇利用者数</p> <p>○入館者数、館外利用者数及び風土記の丘利用者数</p> <p>令和5年度年間目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数 65,000 人 ・館外利用者数 12,400 人 ・風土記の丘利用者数 75,500 人 <p>令和4年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数 72,663 人 ・館外利用者数 37,384 人 ・風土記の丘利用者数 135,499 人 <p>○類似施設との比較</p>	<p>紹介動画を公開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬季特別展では、大阪メトロ天王寺駅構内のデジタルサイネージを利用した情報発信をおこなう。 <p>○入館者数、館外利用者数及び風土記の丘利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総入館者数 41,043 人 (4月～11月) (昨年同月比 85.3%) ・館外利用者数 8,648 人 (4月～11月) (昨年同月比 33.4%) ・風土記の丘利用者数 78,645 人 (昨年同月比 92.6%) <p>昨年度は春季特別陳列を開催したが、今年度実施しなかったこと、また昨年開催された「大阪来てなキャンペーン」のコンサートや「クラシックカーラリー&フルーツマルシェ」などの大型イベントを今年度は開催しなかったことで昨年度の実績を下回っている。学芸員による出張講座、ワークショップ等の館外利用者数もほぼ昨年並み。</p> <p>○類似施設との比較</p> <p>同規模で交通の便等が類似している高槻市立今城塚古代歴史館と比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近つ飛鳥博物館 : 41,043 人(4月～11月) 前年比 85.3% ・今城塚古代歴史館 : 36,705 人(4月～11月) 前年比 93.3% <p>近つ飛鳥博物館と近い条件の今城塚古代歴史館と比較すると、今城塚古代歴史館も全体の入館者が減少している。当館においても、入館者数は春季展を開催しなかったこと、また、夏に猛暑日が続いたこと、昨年実施された大型イベントが開催されなかったことで昨年度の実績には及ばなかった。</p> <p>○利用者満足度調査の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「満足」「やや満足」の割合 93.2% <p>調査期間：4月1日～11月30日 回答数 279件</p>		<p>○入館者数、館外利用者数及び風土記の丘利用者数</p> <p>年間目標に対する実績は、入館者数 63.1%、館外利用者数 69.7%、風土記の丘利用者数 104.1%である。入館者数・館外利用者数については、7ヶ月間で60～70%前後であり、年度内には年間目標を達成できる見込みである。</p> <p>○類似施設との比較</p> <p>類似施設との比較においては、入館者数は双方に共通して、昨年度よりやや減少する傾向がみられる。</p> <p>なお両館ともにコロナ以前の水準に向けて回復基調である。</p> <p>○利用者満足度調査の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「満足」「やや満足」の割合 <p>通期としては93.2%であるが、企画展開催期間は94%に増加している。前年度より2%の上昇がみられるため、引き続き更なる成果に期待したい。</p>			
--	--	---	--	--	--	--	--	--

		<p>◎自己評価</p> <p>今年度は、指定管理者の変更により春季展を開催できなかったこと、昨年度と比べ大型イベントが減ったこと、また猛暑日が続いたこと、台風、大雨警報による臨時休館などの要因から入館者数は、昨年度と比べ低迷している。昨年度は冬季展の開催はなかったが、今年度は特別展を開催する。駅構内デジタルサイネージなどの媒体を使った積極的な広報活動の展開により、利用者数の増加を図りたい。</p>		<p>◎利用者の増加を図るための具体的手法・効果</p> <p>臨時休館や異常気象を始めとしたいくつかの要因があった一方で、入館者数は概ね設定した数値の通り推移している。講演会、学校教育等の連携、出かける博物館事業、府民が参加する博物館事業、風土記の丘の活用など、評価基準を満たすあるいは上回るものが多く、博物館の活用という質的な面では良好な実施状況と評価できる。</p>			
(4)サービスの向上を図るための具体的手法・効果	<p>◇サービスの向上が図られているか</p> <p>○イベントと連携した入館料無料日の実施</p> <p>○インターネットの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新 更新回数 70 回 ・SNS の活用 Facebook、Instagram の投稿数計 100 回 <p>○展示解説リーフレット・解説シートの配布</p>	<p>○イベントと連携した入館料無料日 の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「関西文化の日」に参加して入館料無料の日とし、府民の利用を促進した（11月11日（土）・12日（日） 入館者数計 681 人）。 ・敬老の日 65 歳以上入館料無料として利用促進を図った（9月18日（月）入館者数計 312 名）。 ・うめまつり（令和6年2月24日（土）25日（日） 予定 ・さくらまつり（令和6年3月23日（土）24日（日） 予定 <p>○インターネットの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新 47 回（11月現在） ・Facebook 投稿 58 回（フォロワー数 1,441 人）（11月現在） ・YouTube チャンネル登録者数 425 人（11月現在） <p>企画展示・風土記の丘などの照会動画、展示解説動画を作成し Facebook、YouTube で公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Instagram 投稿数 39 回（フォロワー数 445 人）（11月現在） <p>Instagram では、これまでの当館行事等や考古学的な内容の発信を控え、建物や風土記の丘の自然など、新たな魅力を発見してもらうための内容に限定して行っている。</p> <p>○展示解説リーフレット・解説シートの配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット 3 件（夏季企画展、秋季企画展）冬季特別展でも刊行予定 	A	<p>○イベントと連携した入館料無料日の実施</p> <p>実施されており、評価基準を満たす。</p> <p>○インターネットの活用</p> <p>ホームページや SNS により積極的に催事の告知や活動の発信がなされている。SNS・ホームページ更新については年度内に評価基準を満たす見込み。</p> <p>また昨年度に引き続き常設展示品の紹介や展示解説動画等の公開を行ったほか、SNS の発信内容・方針を明確にして運用している。</p> <p>○展示会図録の刊行、展示解説リーフレット・解説シートの配布</p> <p>実施されており評価基準を満たす。</p>	A		

		<p>◎自己評価</p> <p>今年度は、ホームページは誰もがわかりやすいものへと刷新した。今後は外国の方にもわかりやすいものに随時更新する。また、SNS・動画等を活用した広報に努め、博物館・風土記の丘の魅力やイベントなどの情報を発信している。</p>		<p>◎サービスの向上を図るための具体的手法・効果にかかる評価</p> <p>すべての評価基準を満たしている、あるいは満たす見込みである。SNSの運用を使い分け、博物館の新たな魅力を発信するなど、積極的なサービスの向上が図られているものと評価できる。</p>			
(5)施設及び資料の維持管理の内容、的確性	<p>◇施設・設備の維持・安全管理計画は適切か</p> <p>○施設及び資料の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の策定と適切な実施 ・定期点検の実施と記録簿の作成 <p>○危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの履行 ・訓練の実施 	<p>○施設及び資料の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の策定と適切な実施 <p>AKN 共同事業体各社との柔軟な連携のもと、施設管理年間計画を策定、月1回のJV会議を開催し、情報共有・対応策の即時実施に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期点検の実施と記録簿の作成 <p>近鉄ファシリティーズによる年間点検計画を履行し、その報告書を作成。消防用設備等点検結果報告書は、消防法の規定に基づき所轄消防署に提出する。</p> <p>○危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの履行 <p>火災、その他災害の予防および危機事象発生時における対応について定めた危機管理マニュアルに従って対応を行った。6月2日(火)(大雨警報発令のため)、8月15日(台風接近のため)に臨時休館した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練の実施 <p>自衛消防訓練を12月27日に実施予定。</p> <p>◎自己評価</p> <p>博物館施設、設備、館蔵資料について、館内、指定管理者グループ内ならびに所管課との緊密な連絡・相談のもと適正に維持管理を行った。これにより、来館者の見学環境及び資料の保存・展示環境や安全な資料管理に努めた。また、危機管理マニュアルの見直しをおこない、それに沿って対応した。</p>	A	<p>○施設及び資料の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の策定と適切な実施 <p>年間計画が策定され、計画に沿った施設管理が実施されている。また、緊急を要する災害時や機器等故障時においても適切な対応がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期点検の実施と記録簿の作成 <p>施設・設備の定期点検が適切に実施され、適切な報告書の作成がなされている。</p> <p>○危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの履行 <p>危機管理対応マニュアルに基づく運営の徹底がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練の実施 <p>実施され、基準を満たす見込み。</p> <p>◎施設及び資料の維持管理の内容、的確性にかかる評価</p> <p>すべての評価基準を満たしている。新しい指定管理者の下で適切な管理運営がなされている。また、施設機器の故障や異常気象など緊急の際にも、適切な危機管理体制により迅速な対応がとられている。</p>	A		

	(6)府施策との整合	<p>◇提案に沿った府施策との整合が図られているか</p> <p>○世界遺産百舌鳥・古市古墳群の情報発信 ・関連展示の実施 3件 130点</p> <p>○「こころの再生」府民運動への協力 ・「こどもファーストデイ」の実施 11回</p> <p>◇就職困難者等の雇用</p> <p>◇府民・NPOとの協働</p> <p>◇環境問題への取り組み</p>	<p>○世界遺産百舌鳥・古市古墳群の情報発信</p> <p>・世界遺産学習会「世界遺産 百舌鳥・古市古墳群」の価値と魅力について 10月22日(日)阿部大誠氏(大阪府教育庁文化財保護課)</p> <p>・世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会の事業に参画し「ハルカムナカタキャンペーン」に協力するとともに、「沖ノ島」と「百舌鳥・古市古墳群」の両世界遺産をアピールする。</p> <p>・三内丸山遺跡センター主催の「あおもり JOMON フェスターおおさかの KOFUN と一緒に楽しもう」に参画。世界遺産である青森の縄文遺跡群と百舌鳥・古市古墳群の普及啓発イベントにおいて須恵器パズル・鏡パズルを体験いただいた。</p> <p>・関連展示：夏季企画展 4点・秋季企画展 60点・冬季特別展 455点(予定)、合計 3件 519点(古墳時代中期関連資料)</p> <p>○「こころの再生」府民運動への協力 ・「こどもファーストデイ」の実施 毎月第3土曜日を「子どもファーストデイ」としてワークショップを開催、7回(11月現在)(年間11回開催予定)。</p> <p>◇就職困難者等の雇用 知的障がい者1名の清掃業務への雇用を再委託先で実施。</p> <p>◇府民・NPOとの協働 例年、NPO法人等協働し、古墳の見学会、講演会等の館外活動を実施している。今年度は3月24日にNPO法人フィールドミュージアムトーク史遊会による「さくらウォーク」を実施予定。</p> <p>◇環境問題への取り組み エネルギー価格高騰や電力需給のひっ迫等への対応として、省エネ・節電に努めて、クールビズ(関西夏のエコスタイル)、ウォームビズの取り組みを実施し、館内温度、照明等に関して省エネルギーの意識を徹底させ、バックヤードの過剰照明の間引き、消灯などに取り組んでいる。</p>	A	<p>○世界遺産百舌鳥・古市古墳群の情報発信 世界遺産関連展示の進捗状況は実施件数100%、展示資料点数399%の見込みであり、評価基準を上回る。そのほか世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会等の事業への参画など積極的な取り組みがなされていると評価できる。</p> <p>○「こころの再生」府民運動への協力 ・「こどもファーストデイ」の実施 進捗状況は63.6%であり、評価基準を満たす予定。</p> <p>◇就職困難者等の雇用 計画どおりの雇用がなされている。</p> <p>◇府民・NPOとの協働 適切な協働の企画が実行されている。</p> <p>◇環境問題への取り組み 適切に実施されている。</p>	A	
--	------------	---	--	---	---	---	--

			<p>◇『大阪府文化財保存活用大綱』をふまえた運営 古墳時代・飛鳥時代の専門博物館として、国史跡および重要文化財を保管・展示する博物館であることを踏まえて、文化財の保存に努めるとともに、関連する展示を計画・実施した。また、大綱の理念に基づき府内市町村などの地方公共団体や地域社会等との連携に努めている。</p> <p>◎自己評価 世界遺産百舌鳥・古市古墳群の造営にかかわる地域や産業などに焦点をあて、最新の調査研究成果を組み込んだ展示など、情報発信を積極的に行った。また、こころの再生」府民運動への協力については提案に沿って積極的に行った。このほか、就労困難者の雇用についても積極的に行った。</p>		<p>◇『大阪府文化財保存活用大綱』をふまえた運営 大綱の内容をふまえ、文化財の活用拠点としての運営がなされている。</p> <p>◎府施策との整合 概ね評価基準を満たす見込み。全体として計画どおりの実施状況と評価できる。</p>			
IIさらなるサービスの向上に関する項目	(1)利用者満足度調査等	◇利用者満足度調査の実施により利用者の意見を把握し、その結果を運営に反映しているか。	<p>◇利用者満足度調査の実施による利用者意見の反映 ・常設展、企画展、こどもファーストデイなどのイベント開催時にアンケートを実施。それぞれのご来館者ニーズの把握に努めた。 意見を取入れ、最適な開催時間の設定、放映設備の改善等、随時意見の反映に取り組んでいる。</p> <p>◎自己評価 アンケートによるご意見を館内で共有し改善に繋げている。</p>	A	<p>◇利用者の意見を反映した事業実施がなされている。</p> <p>◎利用者満足度調査等 新しい指定管理者のもと、従来と異なる博物館の運営方針を模索している。そうした状況の中でも、良好な博物館環境の維持に努めていると評価できる。</p>	A		
	(2)その他創意工夫	◇その他指定管理者によるサービス向上につながる取組み、創意工夫が行われているか ○動画等の公開 ・インターネットでの解説動画等の公開5件	<p>○今年度は、特別展・企画展の紹介動画を公開している。 ・企画展関連3回（11月現在） ・こどもファーストデイ7回（11月現在）</p> <p>◎自己評価 博物館の情報発信の手段を強化してきた。今後も更に博物館を知ってもらうためのツールとしてさらに活用していく。</p>	A	<p>○動画等の公開 現時点で評価基準を上回っている。</p> <p>◎その他創意工夫にかかる評価 適切に実施されており、SNSの運用と合わせて今後の発展が期待される。</p>	A		
III適切な管理業務の遂行を図ることができる能力	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	◇事業収支について、計画どおりに実施されているか	<p>◇事業収支計画 【収支計画（当初予算）】 収入（税込） 大阪府委託費 143,200,000円 入館料収入等 6,000,000円</p>	A	<p>◇経費節減に加え、補正予算策定などにより、適切な経費執行が行われている。</p>	A		

	<p>◇従事者への管理監督体制・責任体制が整備されているか</p>	<p>間に追加雇用し安定的な博物館運営を目指す。</p> <p>◇A K N共同事業体における博物館定例会議、文化財保護課との連絡会議（各月1回）及び博物館内会議（週1回）を開催し、事業情報の交換、入館状況、注意事項等の周知を図り、責任体制を明確にし、設置者及び法人本部からの適切な管理監督体制のもとに円滑な組織運営を行った。</p> <p>◎自己評価 博物館の運営を効率的に進めるための必要な職員数を見極め、状況に則した人員配置を検討のうえ体制を強化した。柔軟に適正な管理運営体制の構築を図るとともに、監督体制・責任体制を維持しながら、適切に事業が実施できた。</p>		<p>◇共同事業体間で日常的に密な連絡調整・情報共有がなされ、明確な管理監督・責任体制のもとで管理・運営がなされている。</p> <p>◎安定的な運営が可能となる人的能力にかかる評価 必要な人員の配置による確実な管理監督体制のもと、適切な業務が実施されていることから、評価基準を満たしている。</p>				
<p>(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤</p>	<p>◇法人の財務状況は適切か</p>	<p>◇【アクティオ株式会社】 指定管理事業、施設運営事業における利用者の増加、および新規案件の受注などにより安定的な経営を継続している。 令和4年度決算（2022年1月～2022年12月） 売上高 10,299,611千円 売上純利益 1,759,856千円 営業利益 472,755千円 経常利益 517,293千円 純利益 350,556千円 借入金なし</p> <p>【近鉄ファシリティーズ株式会社】 近鉄グループのビル物件等を中心に、地方公共団体や民間企業の施設維持管理業務等を受注し、さらに事業統合並びに徹底したコスト削減により安定的収益を維持している。 令和5年度上半期 売上総利益 817,485千円 営業利益 261,550千円 経営利益 340,287千円 純利益 171,790千円</p>	A	<p>アクティオ株式会社・近鉄ファシリティーズ・乃村工藝社の三社共に経営状況は安定しており、借入金もない。</p>	A			

